

ROTOBO

Connecting Markets

ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2015年(平成27年)4月25日号 No.1659

目次

■ 2014年のNIS諸国の経済(下).....	1
■ 『ロシアNIS調査月報』2015年5月号のご紹介.....	10
■ モスクワほっとニュース.....	11
黒海産のシーフードを楽しめる店／11	
■ キーパーソン.....	12
ロシアで農業大臣交代／12	
ロシアで「連邦民族問題庁」設立／13	
■ エトセトラ.....	13
月報創刊1000号記念講演会「ロシア・NIS諸国の現在地と将来展望」／13	
■ トピックス.....	14
東北大がロシア研究機関と学術協定／14	
時事通信がアゼルバイジャン通信社と協力契約／14	
グルジアの日本での正式国名をジョージアに変更／14	

2014年のNIS諸国の経済(下)

はじめに

前回に引き続き、CIS統計委員会および各国統計局発表のデータにもとづき、2014年の経済実績を中心に、NIS諸国の最新の経済情勢についてのレビューを行う。

前回は、全12カ国の主要経済指標を表にまとめて掲載するとともに、NIS全般、ロシア、ウクライナ、ベラルーシ、モルドバについての解説をお届けした。今号では中央アジア諸国(カザフスタン、キルギス、ウズベキスタン、トルクメニスタン、タジキスタン)および南コーカサス諸国(アゼルバイジャン、アルメニア、ジョージア)を扱う。

カザフスタン:

「危機の再来」で露呈する産業構造改革の遅れ

2014年のカザフスタンの経済状況は、一見、「危機の再来」といった状況を呈している。最大の輸出品である石油価格の急落に加え、その他の主力品目:石炭・金属・穀物等の国際的需要減退、カシヤガン油田生産再開の遅れ、主要貿易相手国であるロシア経済の不振とルーブルの下落、その結果としての通貨テンゲの為替レートの相対的上昇、さらには天候不順による穀物生産の不振…と、数々のマイナス要因に見舞われた当年のGDP成長率は対前年比4.3%増と、2008～09年の世